



地元「とちぎ」が今こんなに面白い！

とちぎ Day @ 東京

開催レポート

2014年6月14日(土)開催

開催概要

■開催の目的

- ・首都圏いる栃木県出身者(主に20代～40代の若い世代)が集う場をつくる。
- ・出身者等が、栃木県内で活動されている方と出会い、地元と交流することの魅力や楽しさを知る。
- ・出身者のリアルな声(ニーズや思い)を聞く。

■開催日時

- ・2014年6月14日(土)14:00～20:30
 - ※第一部(交流会)14:00～17:30、第二部(懇親会)18:00～20:30
 - ※開催日翌日の6月15日(日)は栃木県民の日

■開催場所

- ・カフェ&ダイニング「フォレスタ虎ノ門」
 - ※住所:東京都港区虎ノ門1丁目14-1 /電話:03-6206-1198

■参加者

- ・70名(出身者26名、県内30名、その他5名+県内からのゲスト4名、スタッフ10名)
 - ※第二部参加者:約40名
 - ※参加費:第一部:1000円(ワンドリンクつき)、第二部:2000円(料理代。ドリンク代は各自清算)

■主催

- ・「とちぎDay@東京」実行委員会
 - ※今回は「キックオフイベント」と位置づけ、今後も継続的にイベント等を開催予定。

■協力

- ・栃木県、フォレスタ虎ノ門、TURNS、ファーマーズ・フォレスト、高校生まち変プロジェクト会議

ゲストスピーカー



風間教司さん

鹿沼市・日光市

日光珈琲饗茶庵オーナー。栃木県鹿沼市出身・在住。
大学卒業後、営業職を経て1999年鹿沼市の自宅を改装しカフェ「饗茶庵」をオープン。その後、2003年「饗茶庵」隣に空家を利用したイベントスペース「花蓮」をオープン。2006年より、若者の創業支援・チャレンジジョブ事業「ネコヤド大市」を開催。その後、2009年4月に日光市今市の路地裏に3年の歳月をかけ明治時代に建てられた連れ込み宿を再生したカフェ「日光珈琲」をオープン。



中村実穂さん

足利市、東京都

有限会社 mother tool 代表取締役。群馬県出身、栃木県足利市在住。
2006年からスタート。つくり手とつかい手の間にたち、両者の思いをかけ算するプロダクトメーカー mother tool代表。工場へ直接足を運び、現場のなかでデザインしてくれる心強いパートナーたちとともに、道具の可能性を広げている。2009年から栃木県足利市にて直営の店舗も運営。



藤井大介さん

大田原市、宇都宮市

株式会社ファーム・アンド・ファーム・カンパニー 代表取締役、株式会社大田原ツーリズム 代表取締役。埼玉県出身、栃木県宇都宮市在住。
農業を通じて地域活性化をするため農業支援を主な活動内容とし各地でコンサルタント・講演活動で活躍。平成21年10月に農業支援会社「(株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー」を設立し、農業を中心とした経営支援事業、飲食事業「下野農園」、惣菜事業、商品開発事業を運営。H24年7月より(株)大田原ツーリズムの代表取締役にも就任し、大田原市のグリーン・ツーリズムによる地域活性化を推進。



田中麻美さん

那須町、那須塩原市

那須ゲストハウスDOORz オーナー。栃木県那須塩原市出身・那須町在住。
薬剤師として愛知県で病院勤務を経験後、東日本大震災を機に栃木へUターン。ニューヨークへの一人旅をきっかけに、ゲストハウス開業を志す。2012年、那須町芦野で里づくりプロジェクトチーム「アシノビト」を結成し、イベント活動を開始。昨年11月、芦野の築50年の古民家を仲間と一緒に改修し、「那須ゲストハウスDOORz」をオープン。旅人×地域の暮らしをテーマに、田舎型ゲストハウスの可能性を模索中。



プログラム内容

■第一部(交流会) 14:00~17:30

- ◎旗揚げアンケート&参加者同士の自己紹介
- ◎4人のゲストスピーカーから活動のご紹介(1人20分)
- ◎4つのグループに分かれて対話と交流(30分×2回)

■第二部(懇親会) 18:00~20:30

- ◎栃木の地酒や野菜等の試飲・試食
- ◎参加者からの自己紹介タイム
- ◎栃木のちょっと気になるアンケート!
- ◎栃木・勝ち抜きクイズ選手権!(素敵な景品あり!)

オープニング

14:00、「とちぎDay@東京」スタート！ オープニング曲は県民の歌。外は快晴。会場は満席でした！



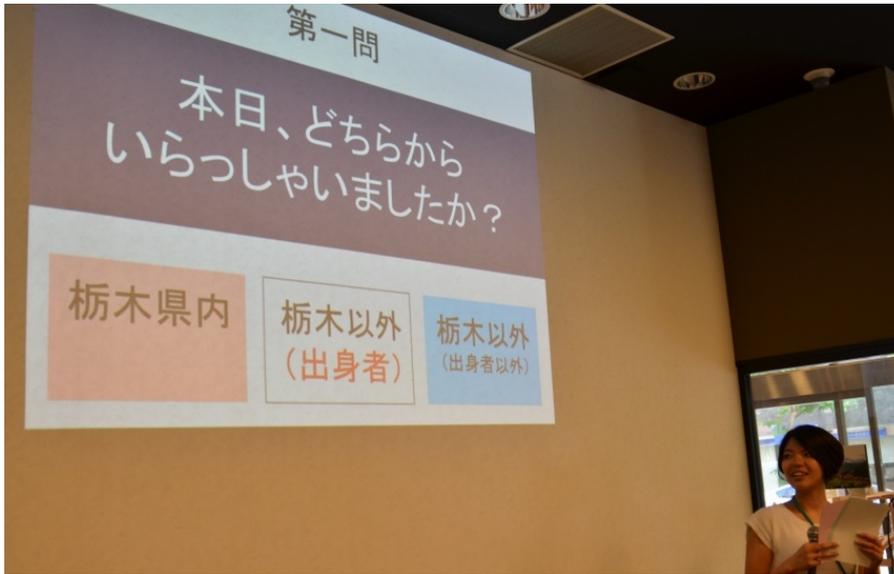
とちぎ Day @ 東京

「栃木県」にゆかりのある方々が
東京で出会うイベントです！

いろんな方とつながり、
楽しみましょう！

旗揚げアンケートと自己紹介

最初に「旗揚げアンケート」。出身者と県内参加者は半々でした。その後に参加者同士で自己紹介。



ネームカードを見せ合いながら
近くに座っている方に
まずはご挨拶！



- ①お名前
- ②出身地やお住まいの市町など

※時間は2分間



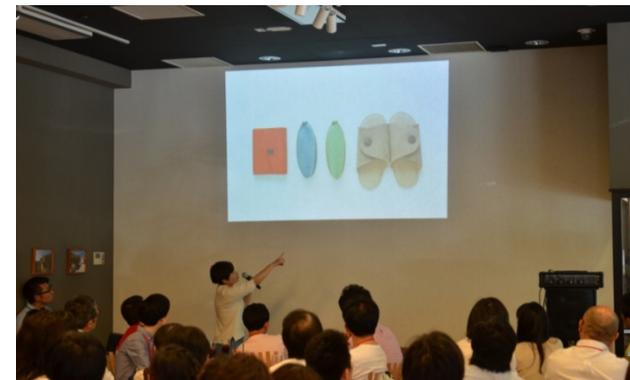
ゲストスピーカーからのお話・風間教司さん

ゲストスピーカーから、取り組まれている活動のご紹介。まずは鹿沼市の風間教司さんです。



ゲストスピーカーからのお話・中村実穂さん

続いて足利市の中村実穂さん。モノづくりへの誠実で熱い思いをお話いただきました。



ゲストスピーカーからのお話・藤井大介さん

3番目は大田原市でグリーンツーリズム事業などに取り組まれている藤井大介さん。



ゲストスピーカーからのお話・田中麻美さん

那須町でゲストハウスを営む田中麻美さん。大切な何かを思い出させてくれる素敵なお話でした。



休憩 & 名刺交換タイム



4つのテーブルに分かれて対話と交流

第一部の後半は対話の時間。つながりが生まれる楽しい時間になりました。



4つのテーブルに分かれて対話と交流



記念撮影（OK牧場～！）



第二部（懇親会）

18:00～第二部スタート！乾杯のご発声は、栃木県理事の西須さん。グラスには栃木の地酒。



第二部（懇親会）

懇親会ではファーマーズ・フォレストさんのご協力で、栃木の野菜やお菓子などが勢ぞろい。



第二部（懇親会）

「フォレスト虎ノ門」のお料理もいただきながら歓談タイムです。



第二部（懇親会）

「高校生まち変プロジェクト会議(鹿沼)」の高校生から、自分たちで商品開発したジェラートアイスのご紹介。



第二部（懇親会）：歓談タイム＆参加者からのPRタイム



「とちぎのちょっと気になるアンケート」

宴もたけなわのところで、県民アンケートを開催！とちぎ心をくすぐる質問の数々に会場大爆笑！



「とちぎのちょっと気になるアンケート」

TVでU字工事を見ていて思うこと。



栃木県民はこんなになまってない！

同意！

実際、
これくらい
なまって

U字工事ってな
まってるの？



いちごを買うとき思うこと。



「あまおう」と書かれているものを
買うのは正直気がひける。

気がひける

気にしない

「あまおう」は
絶対を買わない

「北関東」と言われて思うこと。



「この中では栃木が1番である」。

当たり前
でしょ！

いや、
微妙か
も・・・

興味ない

「とちぎLOVE 勝ち抜きクイズ選手権！」

続いて「とちぎ」をテーマにしたマニアッククイズを出題。上位正解者には素敵な景品をプレゼント！

Q3.

8月1日公開の映画

「るろうに剣心 京都大火編」。

栃木県内のロケ地は？

- 宇都宮市
- 日光市
- 小山市



Q5.

那須のアルパカ牧場には、
何頭のアルパカがいる？

- 200頭
- 300頭
- 400頭



Q8.
現在、日本には17の世界遺産がある。
(富岡製糸所は含まず)
「日光の社寺」は国内で何番目に世界遺産
登録されたか？

8番目



企画運営スタッフからのご挨拶

第二部もあっという間に終了。最後に企画運営スタッフのご紹介とご挨拶。本当に楽しいイベントでした。ご参加いただきました皆さま、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました！



■ 「とちぎDay@東京」実行委員会

- ・里都プロジェクト 大木浩士（さくら市出身、埼玉県さいたま市在住）
- ・関百合子（日光市出身、東京都北区在住）
- ・マチヅクリ・ラボラトリー 村瀬正尊（小山市出身、宇都宮と東京の2拠点）
- ・石原綾子（鹿沼市出身、東京都世田谷区在住）
- ・馬場かなこ（日光市出身、東京都在住）
- ・A R I W R K S 佐藤貴洋（鹿沼市出身、宇都宮と東京の2拠点）
- ・N P O 法人コムラボ 山田雅俊（足利市在住）
- ・黒須仁美（宇都宮市出身、東京都在住）
- ・栃木県庁から宇都宮大学に出向中 大森豊（宇都宮市出身・在住）
- ・栃木県総合政策部地域振興課 三村友宏（佐野市出身、宇都宮市在住）

東京新聞(6/3(土)朝刊)

都心で生活する栃木県出身者に、県内に再び目を向けてもらうイベント「とちぎDay@東京」が14日、東京都港区で初めて開かれる。栃木県出身の有志でつくる実行委員は、インターネット上で、同名のフェイスブックページから参加者を募っている。

進学や就職で都心に出てしまうと、地元の情報にはなりにくく、関心も薄れてしまっている。そこで考えたのが、同郷の人たちの交流の場。県内の魅力を共有し、さまざまな形で栃木とかわりを持つ人が増えればと願っている。

「わが栃木」再び目を

願って企画した。「日光珈琲」の名で、日光市や鹿沼市のカフェを経営する風間敦司(きょうじ)さん、那須町で「田舎型ゲストハウス」を開いた田中麻美(あさみ)さんら男女四人がゲスト出演。県内での精力的な活動を紹介し、参加者と意見交換の場も設ける。第二部として、食事付きの懇親会もある。

活動紹介や交流会

交流会は午後一時から、同六時から、会費千円。懇親会は同六時から、会費千円。いずれかのみ参加も可。会場は、ともにカフェ&ダイニング「フォレスト虎ノ門」(港区虎ノ門)。(神田要)

URNS(6月初旬発売号)

» Tochigi [栃木県]
**首都圏の栃木出身者あつまれ!
 栃木について語る、イベント開催!**

栃木県出身者の集い「とちぎDay@東京」のキックオフイベントが今年6月14日(土)に開催される。午後2時から二部構成。おもに20～40代の若い世代の栃木県出身者が新たにつながる場をつくるのが目的。県内で活躍している4人がスピーカーとして登場したり、テーブルごとに語り合う。地元・栃木が気になっている人は、参加してみよう!



地元「とちぎ」が今こんなに面白い!

とちぎDay@東京

①「とちぎDay@東京」実行委員会
 ② <https://www.facebook.com/groups/234718630051547/>
 ③ 090-5562-7055 (代表大木浩士さん)

下野新聞(6/15(日)朝刊)

講演、クイズ…交流深める 都内で初の「とちぎDAY」



講師を交えて交流する県外在住の本県出身者ら＝14日、東京都港区

県外在住の本県出身者と県民をつなぐイベント「とちぎDAY@東京」が14日、都内で初めて開かれた。県内でもまわったり地域活性化に取り組み若手経営者らが講演。県産食材の試食や本県にまつわるクイズなどを通して、約70人の出席者が交流を深めた。実行委員は県外在住の有志で構成。ふるさとに興味を持ってもらうことも、まちづくりやコミュニティビジネスのノウハウを共有できる機会を設けるためにイベントを企画した。講師は4人の経営者が担当。

当。技術力のある小規模工場をつないだ商品開発や、グリーンツーリズム、ゲストハウス経営など幅広い分野の取り組みを紹介した。

講師は4人の経営者が担当。技術力のあるツーリズム、ゲストハウス経営など幅広い分野の取り組みを紹介した。

下野新聞 2014年6月15日 掲載

東京新聞WEB

「わが栃木」再び目を 都内で14日 出身者向け催し

2014年6月3日

都心で生活する栃木県出身者に、県内に再び目を向けてもらうイベント「とちぎDay@東京」が14日、東京都港区で初めて開かれる。栃木県出身の有志でつくる実行委員は、インターネット上で、同名のフェイスブックページから参加者を募っている。

進学や就職で都心に出てしまうと、地元の情報にはなりにくく、関心も薄れてしまっている。そこで考えたのが、同郷の人たちの交流の場。県内の魅力を共有し、さまざまな形で栃木とかわりを持つ人が増えればと願って企画した。

「日光珈琲(コーヒー)」の名で、日光市や鹿沼市のカフェを経営する風間敦司(きょうじ)さん、那須町で「田舎型ゲストハウス」を開いた田中麻美(あさみ)さんら男女四人がゲスト出演。県内での精力的な活動を紹介し、参加者と意見交換の場も設ける。第二部として、食事付きの懇親会もある。

実行委のメンバーは、民間で都会と地方をつなぐ活動などに取り組んでいる。発起人の大木浩士(ひろし)さん(45)は「イベントに参加しようとか、新しい物事にチャレンジしようとか、つながりが出ることさまざまなメリットが生まれる」と交流の広がりも期待する。

交流会は午後二時から、会費千円。懇親会は同六時から、会費千円。いずれかのみ参加も可。会場は、ともにカフェ&ダイニング「フォレスト虎ノ門」(港区虎ノ門)。(神田要)

下野新聞WEB

県外在住者と県民つなぐ 「とちぎDAY@東京」開催

県外在住の本県出身者と県民をつなぐイベント「とちぎDAY@東京」が14日、都内で初めて開かれた。県内でもまわったり地域活性化に取り組み若手経営者らが講演。県産食材の試食や本県にまつわるクイズなどを通じて、約70人の出席者が交流を深めた。

実行委員は県外在住の有志で構成。ふるさとに興味を持ってもらうことも、まちづくりやコミュニティビジネスのノウハウを共有できる機会を設けるためにイベントを企画した。

講師は4人の経営者が担当。技術力のあるツーリズム、ゲストハウス経営など幅広い分野の取り組みを紹介した。

講師は4人の経営者が担当。技術力のある小規模工場をつないだ商品開発や、グリーンツーリズム、ゲストハウス経営など幅広い分野の取り組みを紹介した。